

発達障害支援専門研修 受講基本モデルの御案内

1 修了証について

発達障害支援専門研修では、受講科目数に応じて修了証を発行します。

《発達障害支援専門研修ベーシック》

発達障害支援専門研修の該当科目から、計4科目を受講

《発達障害支援専門研修アドバンス》

ベーシック修了後にさらに2科目以上受講（ベーシックと同一年度内に修了することも可能です）

2 共通の受講推奨科目

発達障害児支援の経験が浅い方は、下記2科目の受講を推奨します。

- ・発達障害の基礎理解
- ・地域連携講座

3 所属・職種別の受講推奨科目

所属・職種別におすすめの受講科目を挙げていますので、「どの科目を受講したらいいかわからない」という場合に参考にしてください。

※受講推奨科目に含まれない科目もご受講いただけます。

<地域で発達障害のお子さんを対象とした親子教室の運営などに携わる保健師・家庭児童相談員等>

発達障害の特性理解に基づいた支援方法について学び、支援方針を立てるための子どものとらえ方を学ぶことを重視します。併せて、保護者支援の基本姿勢や支援スキルを学びます。

- ・学齢期の発達障害児支援に向けた連携
- ・発達障害と環境支援
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①（感覚の受け取り方の違いを知る）
- ・発達障害のアセスメントにおける心理職の視点を知ろう
- ・発達障害アセスメント研修「M-CHAT」
- ・発達障害アセスメント研修「JSI-R」
- ・中核発達支援センター専門職から学ぶアセスメントと支援のポイント
- ・親子グループ支援実践研修
- ・【保護者支援】楽しい子育て応援講座トレーナー養成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・プログラム支援者育成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者育成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者実践研修（令和6年度実施予定なし）

＜児童発達支援センターで発達障害を持つ就学前児童の集団療育に携わる保育士・児童指導員＞

発達障害の特性理解に基づいた支援方法について学びます。子どもの行動を観察する視点を重視しながら、実際の集団支援の設定の仕方、支援方針の立て方、保護者支援の基本姿勢を学びます。

- ・発達障害と環境支援
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①（感覚の受け取り方の違いを知る）
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修②（スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る）
- ・発達障害のアセスメントにおける心理職の視点を知ろう
- ・発達障害アセスメント研修「M-CHAT」
- ・中核発達支援センター専門職から学ぶアセスメントと支援のポイント
- ・【保護者支援】気づきから保護者との協働にむけて
- ・【保護者支援】楽しい子育て応援講座トレーナー養成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・プログラム支援者育成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者育成研修
- ・【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者実践研修（令和6年度実施予定なし）

＜児童発達支援事業所・放課後等デイサービスで発達障害に、重度知的障害を併せ持つお子さんに関わる保育士・児童指導員＞

発達障害の特性理解に基づいた環境設定や、個別の支援方法のヒントを得られることをめざします。

- ・発達障害と環境支援
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①（感覚の受け取り方の違いを知る）
- ・発達障害児支援における地域連携を考える
- ・【保護者支援】気づきから保護者との協働にむけて

＜児童発達支援事業所・放課後等デイサービスで発達障害に、知的障害は持たないもしくは軽度知的障害を併せ持つお子さんに関わる保育士・児童指導員＞

発達障害の特性を学び、特性に応じた支援の基本を学びます。子どもの行動を観察する視点を重視しながら、具体的なプログラムの設定、環境設定の仕方を学びます。

- ・作業療法士による発達障害児への生活支援の実際
- ・発達障害のアセスメントにおける心理職の視点を知ろう
- ・発達障害アセスメント研修「M-CHAT」
- ・発達障害と環境支援
- ・将来を見据えた生活スキル習得のための支援
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修①（感覚の受け取り方の違いを知る）
- ・発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修②（スムーズな体の使い方を育む関わり方を知る）
- ・発達障害児支援における地域連携を考える
- ・学齢期の SST 実践研修
- ・親子グループ支援実践研修
- ・【保護者支援】気づきから保護者との協働にむけて

＜児童発達支援事業所・放課後等デイサービスで発達障害のお子さんを持つ保護者対応に関わる方＞

発達障害児を育てる保護者への支援方法や心理教育プログラムの組み立て、スキルについて学ぶ機会を重視しています。ご自身の職場でしっかりと保護者支援を行うためには、発達障害の特性理解を土台にした、幅広い視点やスキルが必要です。

- ・ 学齢期の発達障害児支援に向けた連携
- ・ 将来を見据えた生活スキル習得のための支援
- ・ 発達障害と環境支援
- ・ 中核発達支援センター専門職から学ぶアセスメントと支援のポイント
- ・ 発達障害児支援における地域連携を考える
- ・ 親子グループ支援実践研修
- ・ 【保護者支援】気づきから保護者との協働にむけて
- ・ 【保護者支援】楽しい子育て応援講座トレーナー養成研修
- ・ 【保護者支援】ペアレント・プログラム支援者育成研修

＜その他療育場面で発達障害児の支援に関わる作業療法士や公認心理師等の専門職＞

発達障害特性については理解した上で、より特性に即した支援方法、支援計画、保護者支援をトータルに行えることが専門職として求められます。各分野を深めつつより実践的に学べることを重視しています。

- ・ 学齢期の発達障害児支援に向けた連携
- ・ 将来を見据えた生活スキル習得のための支援
- ・ 発達障害のアセスメントにおける心理職の視点を知ろう
- ・ 発達障害アセスメント研修「JSI-R」
- ・ 学齢期の SST 実践研修
- ・ 親子グループ支援実践研修
- ・ 【保護者支援】気づきから保護者との協働にむけて
- ・ 【保護者支援】楽しい子育て応援講座トレーナー養成研修
- ・ 【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者育成研修
- ・ 【保護者支援】ペアレント・トレーニング指導者実践研修（令和6年度実施予定なし）